

「宮城県次期税務総合管理システム開発に係る現状分析等支援業務」の企画提案に係る質問書に対する回答

No	質問	回答
1	仕様書の「2業務目的」に「・・・導入・運用に係る概算費用等を把握する。」、「5業務内容（5）次期システム候補の比較整理及び今後の検討事項の整理」に「・・・費用面・・・必要な事項等を整理すること」とありますが、翌年度の予算要求資料の作成を必要とされておりますか。 必要とされる場合には、予算ご提示資料の提出期限をご教示下さい。 また、整理に当たっては、現行システムの資産量や構築（改修）・維持管理経費等が分かる資料はご提示頂ける前提としてよろしいか。	本業務において、令和9年度当初予算要求（令和8年度作業）に係る資料作成は不要です。 また、現行システムの資産量や構築（改修）・維持管理経費等が分かる資料は提示する予定です。
2	企画提案書への参加申込、及び、企画提案書の提出書類において、押印が必要な書類はない理解でよいでしょうか。	お見込みのとおりです。
3	【次期システムの実現方式に関する現時点のご志向】 次期システムの実現方式について、現時点で貴県として志向されている方向性がございましたらご教示ください。具体的には、以下のような観点でのお考えをお伺いできますと幸いです。 ・クラウド/SaaS型を優先的に検討されるか、オンプレミス方式も許容範囲か ・パッケージ標準準拠(ノンカスタマイズ)を志向されるか、フルスクラッチ開発も選択肢とされるか ・業務側の運用変更をどの程度まで許容して、カスタマイズを抑制する方針とされるか	現時点において、次期システムの実現方式を特定の方向性に限定することは想定しておりません。 本業務における現行システム及び業務の分析結果を踏まえ、費用対効果、運用性、拡張性、セキュリティ、将来的な維持管理負担等の観点から、最適な実現方式を検討していきたいと考えております。 次期システムの実現方式及びシステム構築手法については、クラウド/SaaS型、オンプレミス方式、パッケージ標準機能への準拠、必要最小限のカスタマイズ、フルスクラッチ開発等を含め、幅広く比較検討することを想定しております。 業務運用については、システム標準機能への適合による効率化を基本的な方向性として考えておりますが、制度上や業務上の必要性を踏まえ、業務見直しとシステム対応の適切なバランスを検討することとします。 なお、本業務では特定の方式を前提とせず、客観的な調査・分析に基いて実現可能な方式の検討及び提案を期待しております。

「宮城県次期税務総合管理システム開発に係る現状分析等支援業務」の企画提案に係る質問書に対する回答

No	質問	回答
4	【次期システムで実現したい機能・サービス向上策】 次期システムの構築を機に新たに取り入れたい機能や、県民サービス向上のために強化したい領域(外部連携、収納方法の多様化、電子申請、キャッシュレス対応 等)につきまして、現時点で貴県としてご検討されているご要望・ご期待がございましたらお聞かせいただけますと幸いです。	現時点において、次期システムで実現すべき具体的な機能やサービス向上策を個別に決定しているものではありません。 一方で、次期システムの検討に当たっては、県民・事業者の利便性向上及び職員の業務効率化を重要な観点として捉えており、本業務における現行業務及び現行システムの分析結果を踏まえながら、実現可能性、費用対効果、運用負担、セキュリティ等を総合的に考慮し、必要な機能やサービス向上策を整理していきたいと考えております。 具体的には、現時点で以下のような領域について関心を有しています。 ・電子申請やオンライン手続の拡充による、来庁負担の軽減及び手続の利便性向上 ・紙出力の削減、AI-OCRの活用、RPAによる業務の自動化、電子決裁機能との連携等による、申請、受付、審査、通知、収納等の一連の業務プロセスの効率化 ただし、上記はあくまで現時点で想定される検討の観点であり、特定の機能、サービス又は実現手段を前提とするものではありません。 本業務においては、現行業務の課題や利用者ニーズ、制度上・運用上の制約等を踏まえた上で、県民サービス向上及び業務改善に資する有効な機能・方策について、他自治体の事例や近年の技術動向等も含め、幅広くご提案いただくことを期待しております。
5	募集要領P2に、「本業務の実施に当たり、現行システムに係る設計書、仕様書その他関連資料の解読及びシステムベンダ等と技術的・実務的な事項について協議を行うことができる者を配置できること」とありますが、こちらは、実際に配置することまで求めている（必須要件である）という理解で宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
6	仕様書P1の、「現行システム及び現行業務の調査」を実施するにあたり、貴県から提供いただける資料について、確認させてください。現行システム関連ドキュメントの状況（現行システムの設計書、仕様書、運用マニュアル等）に関し、ドキュメントの種類（業務フロー図、機能一覧、画面一覧、帳票一覧、データベース定義書、外部IF一覧等）毎のファイル数、大まかな分量（ページ数）をご教示ください。	現行システム関連ドキュメントの種類、ファイル数及び大まかな分量等については、本業務における調査の対象としております。

「宮城県次期税務総合管理システム開発に係る現状分析等支援業務」の企画提案に係る質問書に対する回答

No	質問	回答
7	仕様書P2の、「県が実施するRFID」について、貴県における実施規則等がございましたらご教示ください。	ございません。
8	仕様書P4に記載いただいた「調査対象となる20のサブシステム」毎に、大まかな機能数（画面数、帳票数、バッチ処理数等）や外部連携システムの数をご教示ください。	調査対象となる20のサブシステム毎の機能数、画面数、帳票数、バッチ処理数及び外部連携システム数等については、本業務における調査の対象としております。
9	仕様書P4に記載いただいた「調査対象となる20のサブシステム」毎に、当該サブシステムを利用する職員様の大まかな人数（内訳として、会計年度任用職員の人数を添えていただけると助かります）をご教示ください。	現行システムについては、県税事務所職員約300名が利用しております。 各サブシステムの各種登録処理については、担当班ごとに利用可能な機能を制限していますが、情報の照会については、担当班に限らず、システムを利用する全ての職員が利用可能となっております。
10	本件参加にあたり貴県の入札参加資格（物品の調達等）申請は必要でしょうか。現在弊社は「物品調達等入札参加資格」に対して未申請の状況となります。必要に応じてこれから申請を考えておりますが、問題ありませんでしょうか。また、上記以外に必要な申請等あればご教示ください。	本件参加にあたり、本県の物品調達等入札参加登録申請は不要です。